精華町社会福祉協議会
ヘルパー通信
2017．6月発行
No. 3

ふ　わ　り

新緑のさわやかな季節が過ぎると、梅雨の前触れでしょうか、じめじめと湿っぽい風が吹いてきますね。雨が降ると足元が濡れて滑りやすく転倒の危険が生じてきますので、外出時は気を付けて頂きたいと思います。梅雨入りは気分的にもうっとうしい気分になってしまいがちですが、水は私たちが生きていく上でとても大切なものであり、田んぼの畔などにはほたるの姿が見られ風情を感じることが出来ますね。

私たち精華町社協の訪問介護係のメンバーは、平成２９年度も今まで以上に新たな気持ちで地域の皆様や介護を必要とされている方、またそのご家族を支援できるように、日々介護技術の向上を目指し、常に笑顔で頑張っていきますので精華町社協訪問介護係を温かく、時には厳しくご支援ご指導頂きますようお願いします。

第三者評価を受診しました！

〇平成２８年１０月中旬に訪問介護事業所として「介護・福祉サービス第三者評価」を受けましたので、評価の結果を公表いたします。

【良かった点】

①職員に個別評価シートがあり、経験別の基準・求めるもの・具体的内容・研修内容が盛り込まれていて職員個々の目標が立てやすいシートである。また現場責任者との面談を通じて、目標の達成度や課題の達成に取り組んでいる。よって個々の仕事に対する意識を高めサービスの質の向上に繋げている。

②「せいか社協だより」「ヘルパー通信ふわり」「どんチャンネル」などで訪問介護事業の情報をわかりやすく地域に発信している。小学校・中学校への車いす体験の講師や地域の夏祭りへの参加など、地域に根ざした取り組みを行い、地域からの信頼につながっている。

【改善が望まれる点】

①事業所独自のアセスメント様式を利用して定期的に課題の抽出をしているが、利用者の希望の記載欄がない。②専門家の意見照会を行いながら個別計画書を作成しているが、計画を変更する基準が定められていない。

③毎年満足度調査をしていたが、平成２８年度は実施の予定がない。　とのご意見でした。

今回の評価の結果から、より質の良いサービスを提供するために、アセスメント方法の改善やご利用者・ご家族からのご意見をくみ取る仕組みを構築し、さらに地域に貢献できるように職員の資質向上に努めます。＊アセスメントとは、利用者が何を求めているのか正しく知ること、またそれが生活全般の中のどんな状況から生じているかを確認することをさします。

豆知識　　**第三者評価とは？**

第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促し、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。